

始業式でのひとコマ ～学級委員の呼びかけ活動～

校長 鈴木 香子



新しい一年がスタートしました。学校には、生徒達のにぎやかな声と「今年もがんばるぞ！」というエネルギーがあふれています。今年も、生徒たちの「できた！」「もっとやってみたい！」が増える一年にしていきたいと思います。

8日に行われた始業式の中で、学級委員のみなさんが“より良い学校生活のために”というテーマで全校生徒に呼びかけを行いました。

ステージ上で学級委員と先生が息を合わせて寸劇を繰り広げ、『人との距離感』『学校生活での態度（廊下を走らない）』『学校生活での態度（言葉遣い）』『時間を意識して行動する』という、学校生活で大事にしたいことを楽しく伝えてくれました。なかなかリアルな場面設定と見事な演技力に、見ている生徒も先生も「あるある」と頷いたり、笑ったり……。わかりやすく、笑顔になる場面もありながら、とても大切なメッセージがしっかりと伝わる素晴らしい発表でした。

この学級委員の取り組みを見ていて一番うれしかったことは、生徒達が自ら「学校生活を良くしたい」と願い、「みんなが気持ちよく学校生活を送れるようにするために何ができるだろう？」と考え、「自分達でできることをやってみよう！」と行動してくれたことです。

「自分達でつくる学校生活の大切さ」をしっかりと伝える生徒達の中に自主性がしっかりと育っていることを感じ、大変頼もしく思いました。

もうひとつうれしかったことは、コミュニケーションの授業や学校生活の中で、繰り返し生徒達に伝えていることが寸劇のテーマになっていたことです。テーマについては、生徒達が話し合って案を出したそうですが、授業で学んだことが生徒達の中にしっかり根付いていること、自分達の生活をより良くするために学んだことを実践しようとする姿勢に、日々の学習の積み重ねの成果と大切さを実感することができました。

そして、生徒達と一緒に考え、実現に向けて、寄り添いながら支援してくれた先生方にも大変感謝しています。生徒達は自分がやりたいことを実現するためには何が必要か、どのように進めていったら良いのかなど、客観的な判断力や実行力がまだまだ未熟です。そのため、意欲はあるのに、思ったようにいかず途中で投げ出してしまったり、最初から挑戦することを諦めてしまったりすることが度々あります。先生方が話し合いの段階から丁寧にサポートし、活動の雰囲気を盛り上げ後押ししたことで、生徒が「自分達の力でやり遂げた」という達成感を味わうことができ、大きな自信につながったのではないかと思います。

「～つなぐ」「つながる」を合言葉に学校づくりを進めていますが、この始業式で学級委員と全校生徒、生徒と先生、そして学びが生活につながっていく様子など、いろいろな“つながり”を感じることができました。こうしたつながりが広がっていくことで、きっと今年も素敵な一年になると感じています。期待がふくらむ、明るい始業式になりました。



令和8年1月